

**事業名** 埋蔵文化財による小学校出張授業

**目的** 市内の遺跡出土品を用いて、縄文時代の暮らしを学ぶ

**実施主体** 市教育委員会生涯学習課

**参加対象** 新発田市内の小学校6年生

**参加者数** 941名

**回数** 23(校) **日数** 16日(4月10日～5月2日) **時間** 35クラス×45分

**場所** 市内小学校

**内容**

回	期日・時間	テーマ	講師等
	上記の通り	縄文時代の暮らし	生涯学習課職員 (文化財技師2～3名)
1	内容・方法	市内で発見された縄文時代の出土品を用い、当時の暮らしについてより具体的な説明を行なった。また、土器を手に持ち、土器文様の原体をつくるなどの体験学習を行なった。市内の身近なところに、大昔の暮らしがあり、その積み重ねの上に今の暮らしがあることを実感してもらえたため、郷土学習としての効果も大きかった。	

**成果**

- ・ 歴史学習の導入部として市内の小学校教育に定着した。
- ・ 市内の出土品を用いることで歴史を身近に感じてもらえ、郷土学習としての効果が上がった。
- ・ 各学校へ事前に案内文を送付したため、日程の調整がスムーズに行なえた。

**課題**

- ・ 質問要望が多数あるものの、授業時間内で対応できないケースがあったため、後日アンケートや感想文と一緒に質問を受け付け、対応した。

**問合せ先** 生涯学習課埋蔵文化財係 TEL : 0254-26-2163